



セミナー
「COP18-COP/MOP8を前に」

United Nations
Climate Change Conference
COP18-COP/MOP8
の全体像

WWFジャパン
気候変動・エネルギーグループ リーダー
山岸 尚之

2012年11月16日(金)
航空会館B101会議室

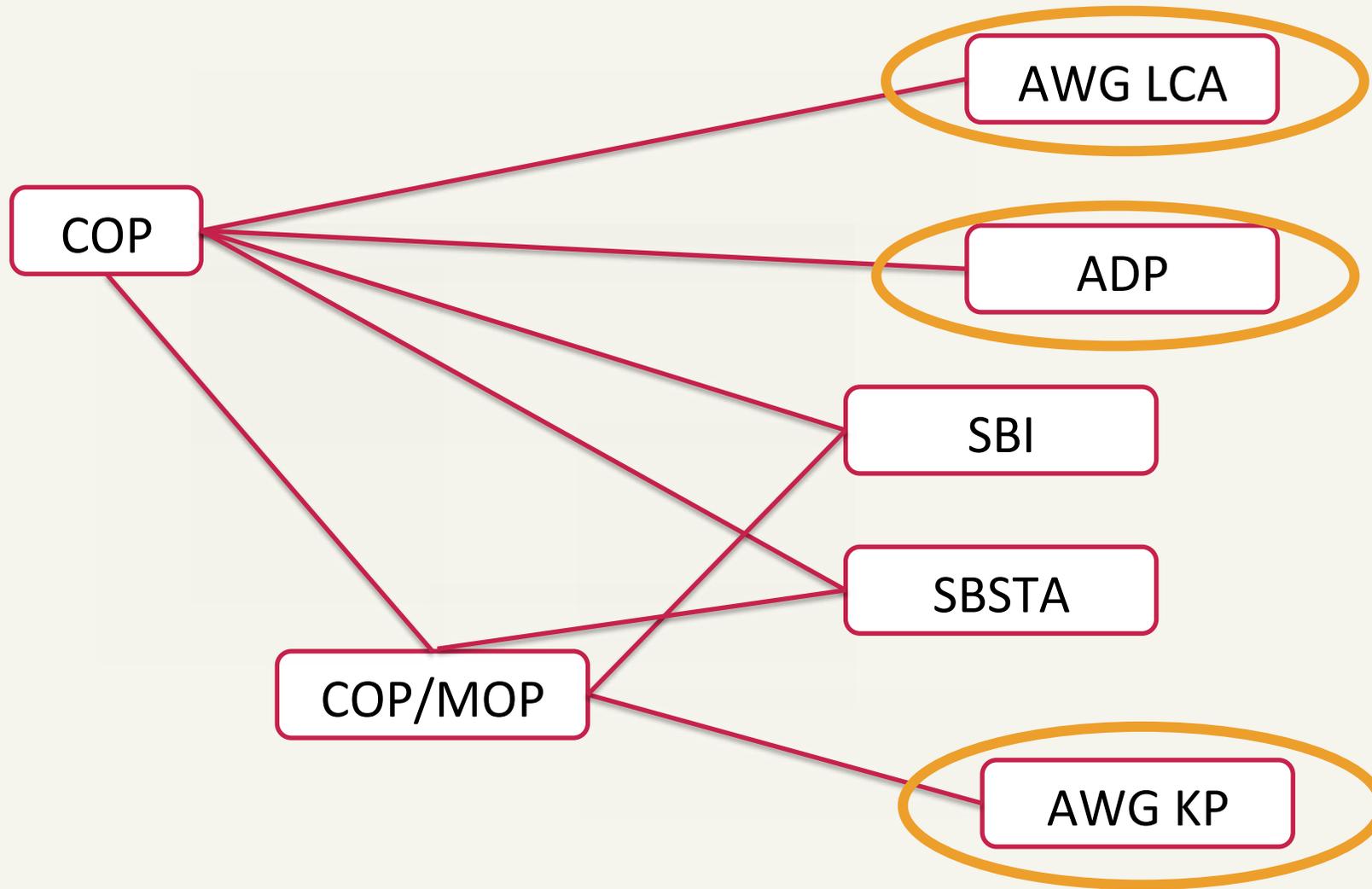


本日の概要

1. これまでとこれから
2. 3つの作業部会それぞれの課題
3. 難しさの所在



7つも開かれる会議



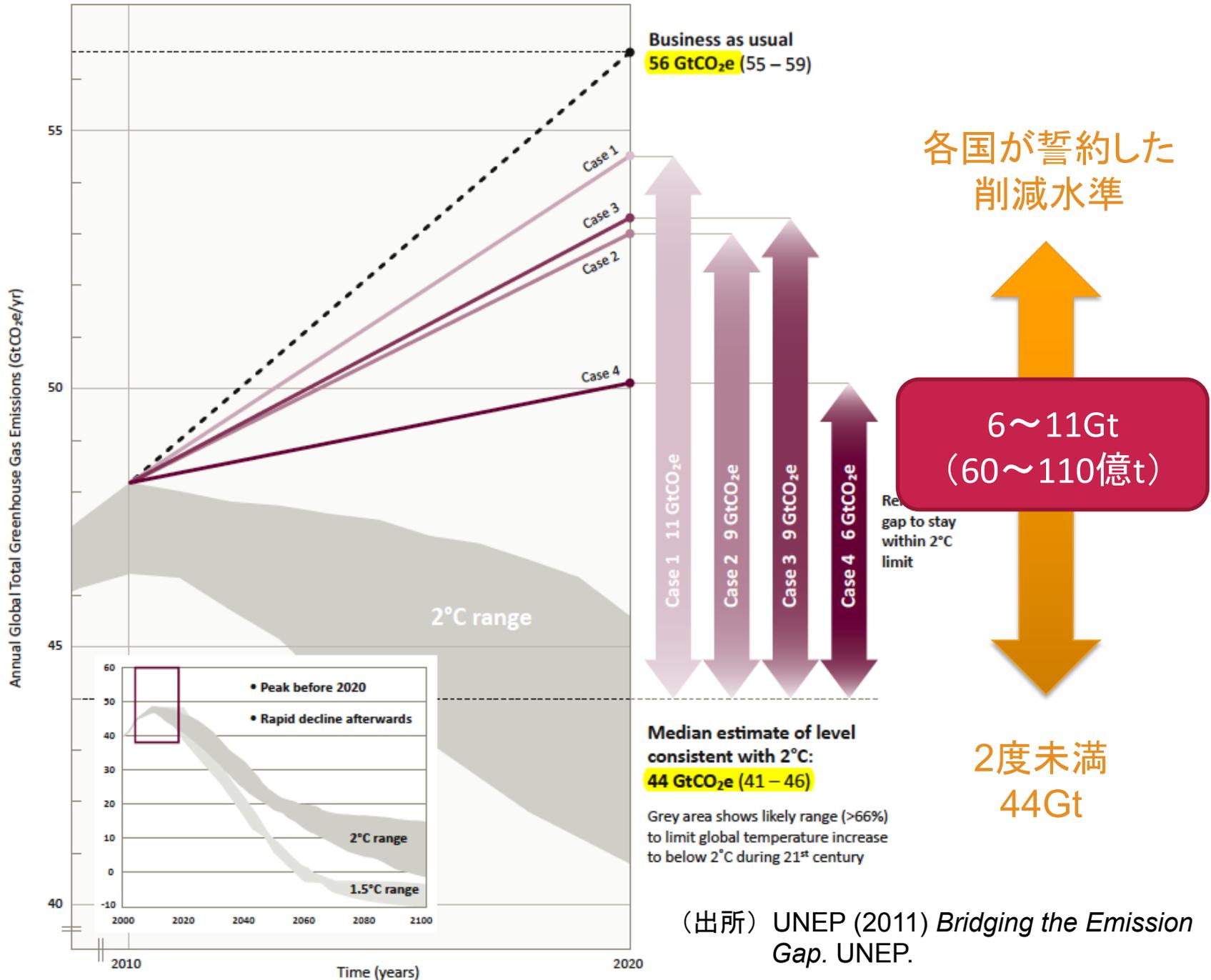


「これまで」と「これから」

年	出来事
＜これまで＞	
2005年	京都議定書の発効 → COP11・COP/MOP1(モントリオール) →京都議定書の第2約束期間の交渉開始。AWG KPの開始。
2007年	COP13・COP/MOP3(バリ) →「バリ行動計画」の採択によって、AWG LCAの開始
2009年	COP15・COP/MOP5 →「コペンハーゲン合意」はコンセンサスが得られず、「留意」となる
2010年	COP16・COP/MOP6 →「カンクン合意」において、非公式ながら、各国の削減目標・削減行動を登録することが可能に
2011年	COP17・COP/MOP7 →「ダーバン合意」によって、「ダーバン・プラットフォーム特別作業部会」(ADP)設立。2015年までに2020年以降の新国際枠組みを合意する交渉が開始。
＜今後＞	
2012年	COP18・COP/MOP8 →2015年へ向けてのロードマップ
2013～14年	IPCCの第5次評価報告書の発表
2015年	新しい国際枠組み(新議定書?)の合意

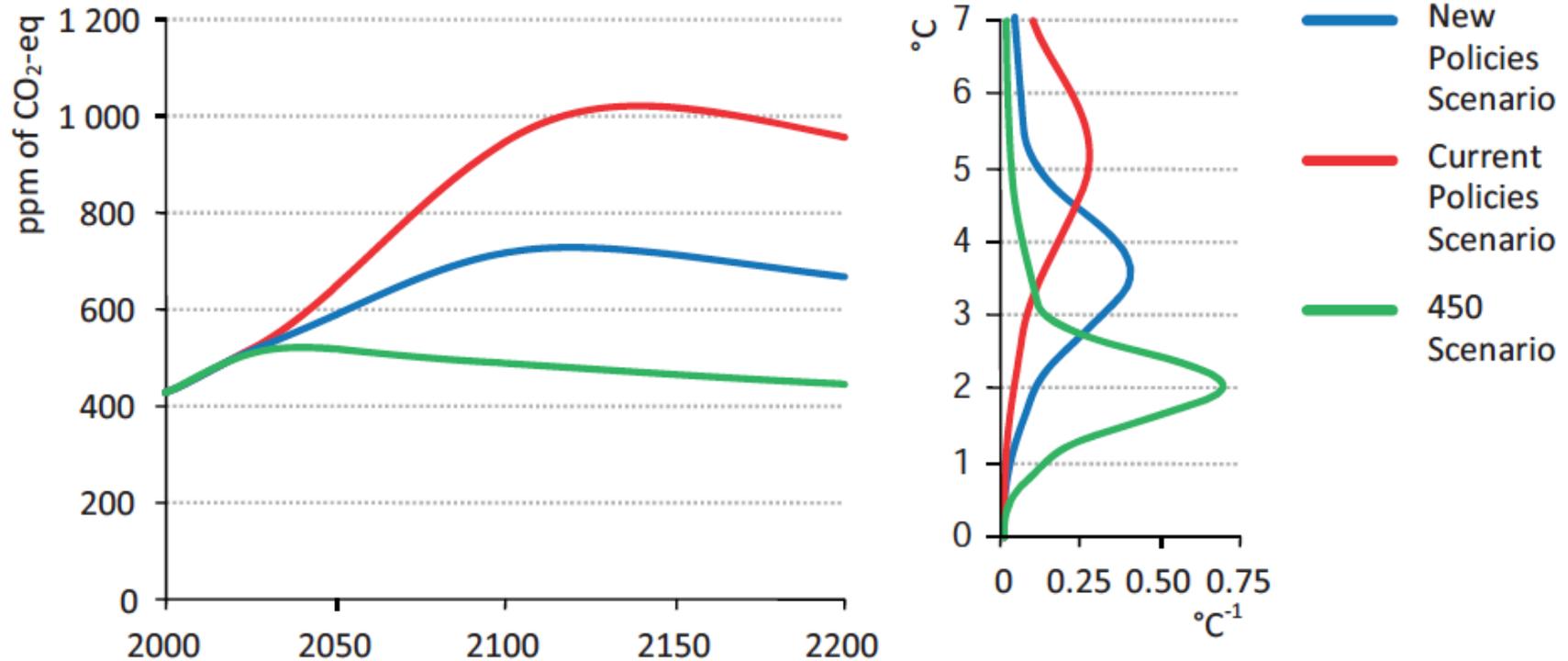


The emissions gap



(出所) UNEP (2011) *Bridging the Emission Gap*. UNEP.

Figure 8.4 ▶ Greenhouse-gas concentration pathways (left) and probability distribution of equilibrium temperature increase above pre-industrial levels (right)



(出所) IEA. (2012) *World Energy Outlook 2012*. OECD/IEA.



ADPに期待されていること

ワークストリーム1: ADP自体の作業計画

- ❖ 2015年へ向けて、どのように交渉を進めていくのかを決める作業計画の採択
- ❖ どれくらい詳しいものを作るのか
- ❖ どのような原則で交渉を進めていくのか

ワークストリーム2: 野心のレベルの引き上げ

- ❖ 「引き上げる」ために具体的な方策を打ち出せるのか
- ❖ 各国の目標を引き上げる
- ❖ 目標以外の数字
 - ❖ 国際航空・船舶
 - ❖ 短期寿命ガスの削減
 - ❖ 化石燃料の補助金の削減



AWG LCAで残っている議題

共有ビジョン	長期目標 / ピークの時期 / 文脈・原則
緩和	先進国: 明確化、野心、比較可能性
	途上国: 明確化
	REDDのファイナンス
	メカニズム(手法)のフレームワーク、新しいメカニズム
	セクトラル・アプローチ: 国際航空・船舶
	対応措置: 単独での措置
適応	適応の資金支援 / 後発開発途上国(LDCs)の国別適応計画 経済多様化 / 国・地域のセンター
資金	資金支援の継続性(2013年~2020年) / 資金のMRV COPとグリーン気候基金(GCF)の関係短期(と中期)の資金支援
技術	技術執行委員会(TEC)・気候技術センター・ネットワーク(CTCN)への指針 資金支援のメカニズムとの連携 / 知的所有権(IPRs)
キャパビル	モニタリングと指標
レビュー	範囲と過程
その他	経済移行国 / 特別な事情のある附属書I国

全般的な課題：京都議定書の改正案の採択

約束期間の長さ

- 5年か、8年か

法的な継続性 (legal continuity) をどう確保するのか

- 改正を今回採択しても、批准＋発効は間に合わない
- 暫定適用等

メカニズム利用の適格性をどう判断するのか

- 第2約束期間に参加する国：改正議定書が発効する前でも使えるのか
- 第2約束期間に参加しない国：メカニズムは使えないのか

第1約束期間の余剰排出枠 (surplus AAUs) に制限をかけるか

- UNEP報告書によれば、90～130億トンの排出量に相当する
- 制限をかけるとしたらどうかけるのか



難しさの所在

- AWG LCAを“円満に”終了させることはできるか
 - 資金の分野等、途上国の中に懸念を持つ国も
- ADPにおいて、衡平性の原則をどう扱うのか
 - 「先進国」と「途上国」
 - 正面から扱うのは難しい？
- 野心の水準の引き上げに具体策を打ち出せるか
 - アメリカ、EU、日本それぞれ、国内の状況が厳しい

